平成１７年１０月４日
中 部 地 方 整 備 局

自律移動支援プロジェクト実証実験（報告）【速報版】

１．実験概要

実験期間：２００５年６月７日（火）～９月９日（金）のうち４２日間
場所　　：瀬戸会場、瀬戸ゲート～瀬戸日本館までの間の通路
内容　　：自律移動支援プロジェクト[*1]において開発中のシステムを一般公募モニターに体験いただき、システムに対しての簡単なヒアリング調査を行った
募集人員：白杖体験コース　６名／日、　車いす体験コース　４名／日

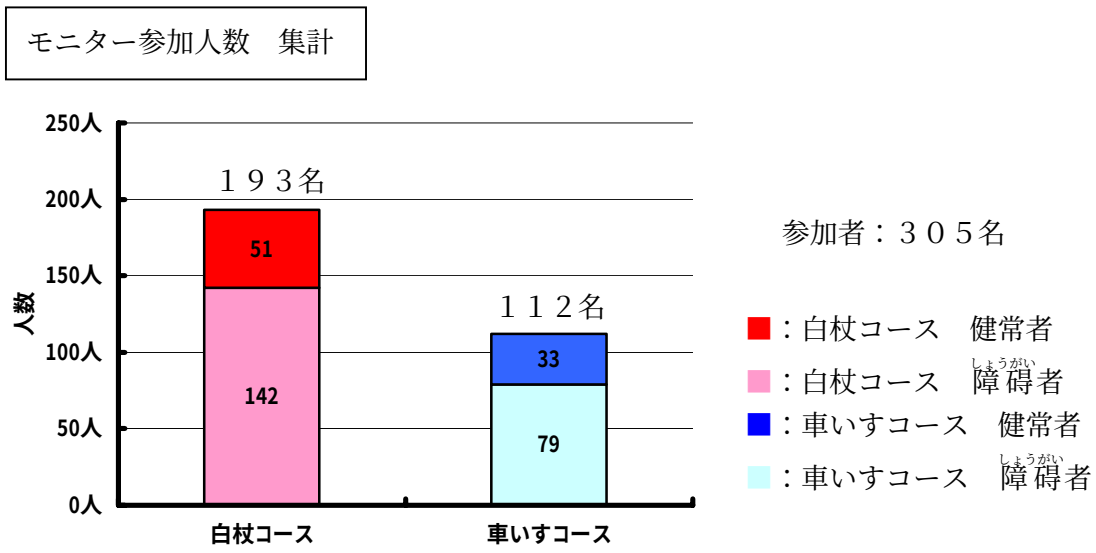
２．実施結果

台風により中止した日を除き、実験を 39 日間実施し 305 名もの一般公募モニターの方々に当該システムを体験していただくことができました。

ヒアリング調査においては、モニター参加者のうち白杖コースでは約９割、車いすコースでは約８割の方にシステムの有効性を認めていただきました。また、システムが整備された場合の外出意向を調査したところ、視覚障碍（しょうがい）者の方では約 7 割、車いす利用者では半数の方に「現在より外出の頻度が増える」とのご回答を頂きました。

実証実験に参加いただきました皆様からの貴重なご意見は、今後のシステム開発に活用し、皆様にとって使い易いシステムの開発を進めて参ります。

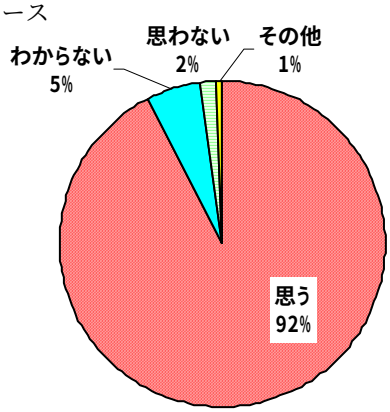
モニターへの参加をはじめ、実験会場での介添えや周知活動等、多くの方にご協力をいただき誠にありがとうございました。



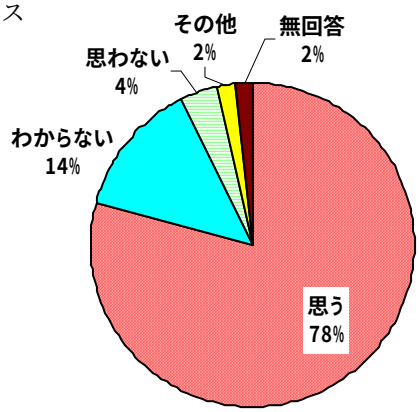
アンケート集計結果（抜粋）

Q.自律移動支援のシステムが街なかに整備されることは有効だと思いますか？

白杖コース

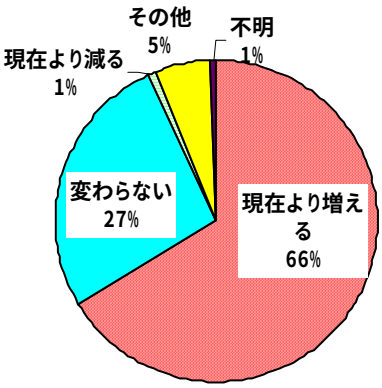


車いすコース

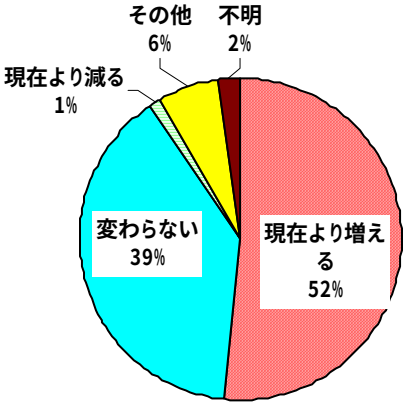


Q.システムが整備された場合、現在と比べて外出頻度はどう変化しますか？*2

視覚障碍者



車いす利用者



実験実施状況

白杖コース体験状況

車いすコース体験状況

＊1　『自律移動支援プロジェクト』　：　誰もが安心して快適に移動できる環境を目指して、移動手段・交通手段・目的地などの各情報を“いつでも、どこでも、だれでも”アクセスできるシステムを構築するプロジェクト。愛・地球博瀬戸会場では障碍者に対しての移動支援システムを実験した。

＊2　障碍者のみ回答